

文化の種を蒔き、芽を出し、花を咲かせる

砺波市文化会館 館長 川岸 直紀

昭和57（1982）年4月に砺波市文化会館がオープンして、今年で45年目を迎えました。私の教員人生もちょうど同じ年にスタートし、同年5月1日のこけら落とし公演は、読売日本交響楽団の演奏会でした。マエストロ・三石精一の指揮で、館野泉（p f）が奏でるグリーグのピアノコンチェルトと展覧会の絵。大ホールは超満員で、私もその一人として客席にいました。誰もが固唾をのんでステージを見つめ、耳を澄ませている。詰めかけたお客さんがつくり出す何とも言えない高揚感・一体感を、今でも鮮明に覚えていてます。

その後私は中学吹奏楽部の指導者として、地域のいろんな行事に参加し、子供たちと共にステージに立ちました。2001年から15年続いた吹奏楽振興事業「となみ野バンドクリニック」で勉強する機会も与えていただきました。時を経て、近年の市内小中学校の吹奏楽部や合唱部が北陸・中部大会を突破して全国大会へ出場するなど、その活躍には目を見張るものがあります。

「となみミュージカルキッズ」や「チューリップパレード」「となみのジュニア合唱団」の活動も、あの時の種蒔きが芽を出し、これからも花を咲かせていきます。その間ずっと応援し続けてくださった、となみ芸術文化友の会ならびに加盟団体の皆様方と会館スタッフの先見の明に敬意を表するものです。

砺波市文化会館事業についてのご案内

ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2026

日本最大規模のオーケストラツアー！
今年は、アニメーション映画『アナと雪の女王』をフィーチャー！

【日 時】 10月23日（金）18:30開演
【チケット】 S席:9,300円/A席:8,000円/SS席:13,000円
※会員特典適用あり（割引は2枚まで）
【発売日】 好評発売中
【プレイガイド】 Club Harmony/ 砺波市文化会館（WEB・窓口）
ローソンチケット / チケットぴあ / イープラス
ホクチケドットコム



Presentation licensed by Disney Concerts. ©Disney
TARZAN® ©1999 Edgar Rice Burroughs, Inc. and Disney Enterprises, Inc. All Rights Reserved.

南こうせつコンサートツアー 2026 ～君と僕のうた～

日本を代表するフォークシンガー 南こうせつが、世代を超えて
愛される名曲とともに、心あたたまるステージをお届けします！

【日 時】 11月14日（土）16:30開演
【チケット】 全席指定 8,000円 ※会員特典適用なし
【発売日】 一般販売:8月8日（土）10:00～
【プレイガイド】 ローソンチケット / チケットぴあ / イープラス
ホクチケドットコム / 砺波市文化会館窓口
【主 催】 富山テレビ放送 / サンライズプロモーション北陸
【お問合せ】 サンライズプロモーション北陸 025-246-3939



となみ芸術文化友の会

友の会だより第68号 2026年8月

〔発行〕となみ芸術文化友の会事務局（砺波市美術館）
〒939-1383 富山県砺波市高道 145-1 ☎ 0763-32-1001

令和8年度 となみ芸術文化友の会 総会、コンサート終了報告

令和8年度の友の会総会は、5月23日（土）午後4時より、砺波市美術館2階市民アトリエにおいて開催いたしました。ご審議いただいた議案はいずれも承認されましたことをご報告申し上げます。

なお、今年度は役員の改選時期ではございませんが、4月より砺波市文化会館館長に川岸直紀さんが就任されたことに伴い、参与につきましては変更となりましたので、あわせてご報告申し上げます。総会資料をご希望の方は、事務局までお申し出ください。

また、総会終了後には、砺波市出身で日本フィルハーモニー交響楽団の副首席奏者を務められたホルン奏者・伊藤恒男さんにコンサートをお願いし、田畑康志さん、恩田雅也さん、清水米治さんとともに、4名による「伊藤恒男とその仲間たちによるホルンコンサート」を開催しました。

演奏に聞惚れるのはもちろん、コンサートの合間にはホルンという楽器や日本のオーケストラについてのお話も交えていただきました。ホルンの魅力を十分の味わっていただけるひとときとなりました。



（写真左より：伊藤 恒男さん・田畑 康志さん・恩田 雅也さん・清水 米治さん）

伊藤 恒男さん

東京芸術大学音楽学部器楽科ホルン専攻に入学後、昭和56年、（財）日本フィルハーモニー交響楽団に入団。永きにわたり副首席奏者を務め、プラハの春音楽祭等海外多数の音楽祭に参加。ホルンを宮内嘉彦、大橋秀丸、H. ブラーデル、千葉 馨、各師に師事。旧林小学校・出町中学校・砺波高校出身。

田畑 康志さん

中学から始めたホルン歴約50年。中学教員の傍ら、指揮者、講師として後進の指導にあたる。編曲者としても活躍。



恩田 雅也さん

中学校吹奏楽部からホルンを始め、大学からはオーケストラに所属。ホルン歴38年。

清水 米治さん

1965年生まれ。福光中学校吹奏楽部でホルンを始め、現在、南砺市消防団音楽隊、富山ホルンステーションに所属。



令和8年度 となみ芸術文化友の会 会員募集中

となみ芸術文化友の会は、砺波市文化会館・砺波市美術館の活動をサポートしながら、芸術鑑賞などの活動を通して会員の教養・親睦・交流を深めることを目的とした団体です。

ご入会いただくと、砺波市文化会館・砺波市美術館の催物や企画展での会員限定特典に加え、友の会主催の研修旅行、美術作品とのコラボレーション事業、講演会などにご参加いただけます。

令和8年度会員の有効期限は、入会日より令和9年3月31日までです。今ご入会いただくと、秋に開催予定の研修旅行へのご参加のほか、砺波市美術館企画展「かたわらには、いつもネコ展」の招待券を進呈いたします。令和8年度の事業は、このほかにも現在計画中です。興味・関心のある方は、ぜひご入会手続きをお願いいたします。

また、会員の皆様には、友人・知人の方々をお誘いいただき、ご来館くださいますようお願いいたします。

研修旅行について

現在、下記2案のいずれかのコース・期日での開催を検討しております。

決まり次第、お知らせいたします。

参加資格は、会員さまおよびご家族1名です。ご参加をお待ちいたしております。



*期日と行程

1案：福井県福井市・小浜市方面 — 10月20日（火）・・・美術館見学と若狭塗り箸づくり体験コース

2案：愛知県名古屋市方面 — 11月4日（水）・・・日本で約10年ぶりの公開となるゴッホの「跳ね橋」を見学コース

福井県福井市・小浜市方面 — 10月20日（火）

【越前ふくい美術館】

令和6年3月23日に開館。
福井城址のお堀のすぐそば。



【箸匠せいわ】

店内には、約400種類のお箸。伝統的な若狭塗箸はもちろん、長寿箸、夫婦円満の箸、宝くじ当選箸など、楽しいお箸がいっぱい。

※「世界で一膳、自分だけのお箸をつくろう」

お箸の研ぎ出し体験を楽しめます。



愛知県名古屋市方面 — 11月4日（水）

【名古屋市美術館】

特別展「ゴッホの跳ね橋と印象派の画家たち
ヴァルラフ＝リヒャルト美術館所蔵」

ドイツ・ケルン市にあるヴァルラフ＝リヒャルト美術館・コルプー財団は、約7万点のコレクションを誇る、ドイツ有数の美術館。とりわけ優れた質と量を誇る印象派とその前後の作品70点が来日。
※令和元年11月に名古屋市美術館を訪れ、その際は、カラヴァッジョ展を見学しています。



砺波市美術館の企画展

富山新聞復刊80年記念「かたわらには、いつもネコ展」

砺波市美術館学芸員 杉本 積



会期：2026年9月19日（土）～11月8日（日）
午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日： 9月28日（月）
10月 5日（月）、19日（月）、26日（月）
11月 2日（月）

観覧料：一般800円（700円）、高校生以下無料、
障がい者（介助者1名を含む）無料
（ ）内は20名以上の団体、65歳以上の割引料金

関連催し（要観覧券）

◇ギャラリートーク
日時：9月19日（土）午後2時から
会場：企画展示室
講師：松本 育子
（刈谷市美術館館長代理 本展監修者）

◇担当学芸員によるギャラリートーク
日時：10月3日（土）、24日（土）
いずれも午後2時から
会場：企画展示室



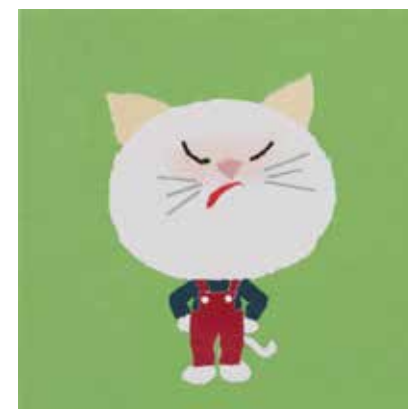
猫は、わたしたちにとって、とても身近な動物で、古くから一緒に暮らしてきました。その愛らしい表情や動きだけでなく気まぐれで自由、どこか高貴でミステリアスな雰囲気も猫ならではの魅力といえるでしょう。多くの人の心をとらえ続けている猫は、犬とならぶペットの代表格であり、子ども向け雑誌や絵本などで早くから取りあげられてきました。その姿は、個性的な主人公として、またある時は味のあるわき役として、さまざまな画家によって数多くの作品に描きだされてきました。

第1部では、1880年代から1940年代までに発刊された絵雑誌の中に描かれた作品から貴重な書籍や原画で猫表現のうつり変わりを紹介します。第2部では、戦後まもない時期の1950年代から絵本や雑誌が続々と登場し、60年代から70年代に日本の絵本文化は黄金期を迎えます。良質な作品が次々と生み出され、現在にいたるまで世代を超えたさまざまな画家たちが手掛けた個性的な猫のイラストレーションを絵本と原画で展示紹介します。

本展は、日本の絵本100年のあゆみをダイジェストにたどりつつ、今も新たに創作が生みだされている「猫」絵本の多様な世界をお楽しみください。



ささめやゆき『あしたうちにねこがくる』
表紙原画 2000年 ©Yuki Sasameya



せなけいこ『ふうせんねこ』
原画 1972年 ©Keiko Sena